

環境にやさしい素材、廃材を使った作品とワークショップ

環境アート

作品展

2024

3/16 ± 3/17

10:00-15:00

※3/17は19:00までKITANOキャンドルを開催します

参加費
無料



& ワークショップ

ブースを回ってスタンプを集めよう！プレゼントがもらえるよ！

展示作品

- ① アルミ缶クラフト
- ② ジャンクアートのお面
- ③ 生分解性プラスチックを使った光のアート
- ④ 工業用廃材のアップサイクル
- ⑤ 廃ガラスアート
- ⑥ 廃材アート作品・・・などなど



アルミ缶で折り鶴、ちょう、クワガタ・カブトムシを作るよ！

詳細お申込みはこちらから



ワークショップ

予約不要

※アルミ缶クラフトのみ要予約

3/16・3/17

- ① アルミ缶クラフト **要予約**
- ② 廃材で海の生きものをつくろう！
- ③ 地球を救ってデニムバングルを作ろう！
1日25名限定

3/16

- ① 生分解性プラスチックで光るアート
- ② ガラスアート

3/17

- ① 廃棄する紙を使ったアート作品づくり
- ② エコキャンドルづくり

KITANOキャンドル
夜にはあったかホールをキャンドルで飾ります。

主催 クールセンター八王子(八王子市地球温暖化防止活動推進センター)
運営団体:特定非営利活動法人エヌピーオー・フュージョン長池

後援 八王子市教育委員会

〒192-0906 八王子市北野町 596-3 あったかホール 2 階

お問合せ



042-656-3103 042-649-2118



zerocarbon@coolcenter802.net



https://coolcenter802.net/

受付時間:9時~17時 ※日・月曜日、年末年始を除く

お問い合わせは、電話、FAXまたはE-mailでクールセンター八王子まで



クールセンター八王子HP



アーティスト紹介

細井 愛菜さん

ニックネーム：mocomoco (モコモコ)
10歳で親子起業 (当時、小学4年生)
株式会社moco Earth 取締役社長
小学生社会起業家
アースディ東京2023 実行委員
オンライン習い事 SOZOWアンバサダー
オンライン英会話 ノバキッドアンバサダー



ワークショップではデニムでバングルづくりをします。
今の海の中を表した段ボールの中から、地球に見立てカプセルを救って！
また、お魚の中にも何か入ってるから見てみよう！海の中を知れるワークシート付き！※1日25名限定



聖徳学園中学高等学校の皆さん

講師：小原典子さん

再生というテーマでその町の特徴を生かした光のオブジェを制作、インスタレーションを展開

美術部で地球に優しい生分解性プラスチック、手びねりプラスチックで森を制作しました。

それぞれの木は光っていますが暮らしの灯りを表しています。木が集まると森になるように、灯りがたくさん集まると活気のある町になります。

この作品は自然と暮らしをテーマに考えました。

協力：TFabWorks (ティー・ファブ・ワークス)

鹿田 実さん 金鹿工具製作所

金切鋏専門メーカーに勤務の傍ら、アルミ缶クラフトの普及活動を行っている。

弊社製造の鋏・工具でつくるアルミ缶折り鶴づくりは、アルミ缶を切って折ってつくる金属切り折り紙です。

都内の各小中学校で金工教材として注目を集めています。主な活動は各種環境フェアのイベントに出展、ワークショップなど、また小中学校のものづくり学習授業の講師も務めています。



女子美術大学の皆さん

工業製品の製作工程で排出される端材や廃材は、見方を変えると、とても魅力的な素材です。女子美術大学の有志学生が多様な企業様からご提供頂いた廃材を使用して、バックやアクセサリなどを制作しました。



石田恒平さん

元美術教師

2017年度にJICA海外協力隊に参加し、2年間アフリカのモザンビークで美術隊員として活動。帰国後、東京造形大学大学院に入学し、アートと国際協力をテーマに研究を行っている。



中村 弘子さん ガラス工芸作家

スタンドグラスやキャストガラスを使って建物に設置する作品を制作。

ガラスは再利用可能な素材です。高温で溶かせばどんな形でもつくることのできる

ので、不要となった瓶や板ガラスなどのを素材として小さなオブジェもつくっています。また、作品制作の一方、アートの力を地域に生かしたいとNPO法人アート多摩や、障害のある人のための創作活動サークルで活動しています。



紙塾さん

元印刷会社の同僚で共に二児の母でもある、吉永久美子&遠藤恵子による紙あそびクリエイターユニット。

ざらざら、ふわふわ、かさかさ、いろんな質感を感じながら変幻自在に形を変える紙は、創造性を引き出す最高のツールです。工場から出る廃材の紙を利用して、さまざまなものを作るワークショップなどを行い、紙の楽しさを伝える活動をしています。



ワークショップのブースを回ってスタンプを集めて
ちょっとリアルで可愛い動物たち缶バッジをプレゼント！ 協力：MOSSA

東京デザイン専門学校 クリエイティブアート科の皆さん

ジャンクアート「廃棄物を利用した半立体作品の制作」

アート作品の制作ではキャンバス、絵の具、粘土等の慣れ親しんだ素材を自明なものとして選択する場合がありますが、時にそれを疑い、積極的に他の材料を探してみることで、意外な発想や表現の幅を広げたりと、

クリエイティビティを高めることに繋がります。環境問題を考えることも現代のアーティストの重要な課題です。美術品の輸送や保管も社会問題になっており、これからは作品制作から保管までしっかり責任を持たなければなりません。クリエイティブアート科は、表現するテーマを見つけ、新しいアートを生み出すアーティストとしての実力を養っていく学科です。廃材の再利用に取り組むことで作品に対する大切な姿勢が自ずと育まれていきます。



メガネバシさん

造形講師、イラストレーター

都内周辺の幼稚園や保育園を中心に廃材や自然素材を使った工作遊び、ワークショップの出張講師を行っている。

